

公益社団法人
日本介護福祉士会

ニュース

Vol. 165

1月1日号

令和4年



Japan Association of Certified Care Workers

新たな年を迎え、ご挨拶申し上げます。

公益社団法人日本介護福祉士会 会長 及川ゆりこ



皆様、新年あけまして
おめでとうございます。

昨年は大変お世話になりました。

日本介護福祉士会会員
の皆様におかれましては、
昨年も様々な事業や取組

にご協力いただきましたことに、心より感謝申し上げ
ます。

令和3年は、新型コロナウイルス感染拡大における
制限下での東京2020オリンピック・パラリンピック
が開催された年でした。また、私共もwithコロナ
での行動を様々な形を作りながら進めてきたところ
でございます。

このことで、これから先も様々な形での会議や
オンラインでの研修の開催など、大きな力を備える
ことができました。今後一層工夫を凝らして会員の
皆様への発信や国民の皆様への発信など積極的に
努めてまいりたいと考えております。

そして、令和4年は組織強化にこれまで以上の
力を注ぎ、日本介護福祉士会が「介護福祉士」の
職能団体としての責任を果たすため尽力してまい
ります。

介護福祉士の皆様の声はこの日本にとってかけ
がえのない声です。介護福祉士の皆様は、様々な
課題の解決を図りながら、クオリティーの高い介護
福祉サービスの提供に努めておられます。また、これ
からの介護を担う後進の育成にも力を尽くしておら
れます。そのような皆様の声をくみ取り、社会へ発信
してまいります。

また、会員の皆様が職能団体に所属しているこ
とをしっかりと感じていただけるよう、双方向での
コミュニケーションの場を作ってまいります。皆様
の様々な声を蓄積して、職能団体としての声にま
とめ、国の政策や関係機関へ意見として発信する
とともに、併せて会員の皆様へのフィードバックも
行ってまいります。令和3年の様々な取組を振り返
りますと、皆様にご協力をいただいたことに大きな
力を感じ、自信となりました。今後も会員の皆様か
らのなお一層のご支援を賜りたいと願っております。

結びにあたり、withコロナでの「介護福祉士」と
しての実践力をますます強くしながら、目の前のご
利用者様や国民の介護福祉の向上に努めてまいり
ましょう。

何よりも会員の皆様のお体をご自愛いただき、
ご無理のないようにと切に願いながら、ご健康と
ご多幸そしてご活躍をご祈念申し上げ、新年のあい
さついたします。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

